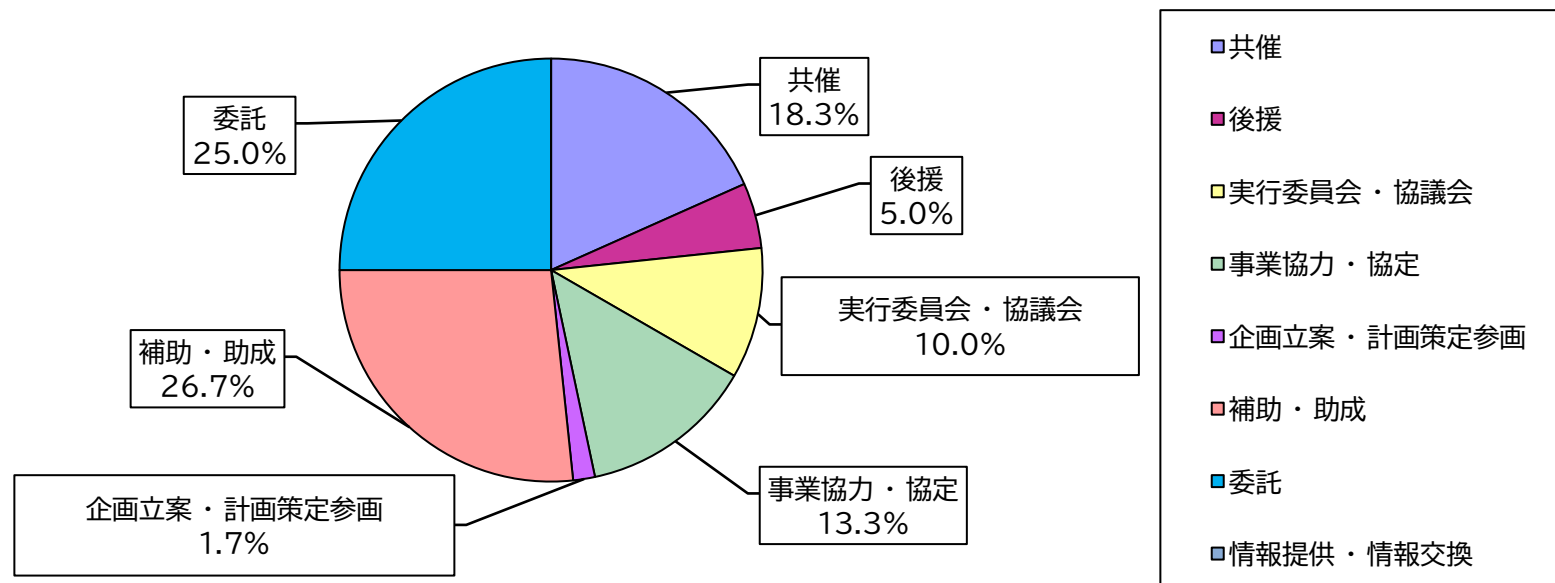


# 沼田市の市民協働事業(令和6年度)

## 1 協働事業の状況

### ○手法別の状況

区分	共催	後援	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	11	3	6	8	1	16	15	0	60
割合	18.3%	5.0%	10.0%	13.3%	1.7%	26.7%	25.0%	0.0%	100%



採用した協働手法について、目的達成に対して適切だったか、5段階で評価していただいたところ次の結果になりました。平均点は4.75点で、ほとんどの事業で適切な手法を採用できているようです。

「採用した協働手法は、目的達成に対して適切だったと思いますか？」

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	4	7	49	60

参考:協働手法一覧

手 法	内 容	効 果
共催	パートナーと市がともに事業主体（主催者）となって事業を行います。	それぞれの専門性を生かすことができるので、単独主催よりも内容が充実されます。
後援	パートナーが実施する事業を支援するため、市が後援という形で名を連ねます。	主に金銭的な支出は伴わず、事業に対する理解や関心、社会的信頼を増すことができます。
実行委員会・協議会	複数のパートナーが構成員となって新たな主催団体をつくり、事業を実施します。	企画段階から十分に協議し、情報を共有するとともに、経費負担や役割分担などを明確にしておく必要がありますが、それぞれの専門性を生かし、内容の充実が図られます。
事業協力・協定	パートナーと市が、お互いの特性を生かし、一定期間継続的に協力して事業を実施します。	双方の特性が発揮できます。また、継続的に協力することで協働の意識の啓発や醸成につながり、信頼関係が構築できます。
企画立案・計画策定への参画	パートナーの持つ専門的な知識や経、情報等を生かしてもらうため、審議会や委員会に参加して意見や提案をしてもらいます。	独創性のある発想や考え方を施策に取り込むことができます。また、市民も積極的に市政に参加する意識が生まれます。
補助・助成	パートナーが行う事業に対し、財政的な支援を行うことで、公益を実現します。	補助する、補助を受けるという立場の違いから、対等性を失いやすいので注意が必要ですが、実施主体の自主性、自立性が尊重されます。
委託	主体が責任をもって担うべき事業を、業実施にふさわしいパートナーを見つけ事業委託します。	パートナーの専門性や柔軟性、先駆性などの特徴を生かして、より効果的な取り組みができます。
情報提供・情報交換	パートナーと市が、それぞれ持っている情報を提供し合ったり、意見交換などをして、情報の共有を図ります。	専門的な情報を得ることができ、地域課題や市民の声が的確に把握できます。また、それぞれの情報を共有することにより、事業内容が充実します。

## 協働による成果・効果に関する評価

事業全体に対する費用対効果については、平均4.48点と高得点ですが、他の質問よりは3点や4点をつける事業が多くなりました。これに関して、事業内容や補助金額の妥当性、集客や波及効果を踏まえた費用対効果の検証と改善が必要とのコメントがありました。

「事業全体に対して、十分な費用対効果は得られましたか？」  
(回答者:市)

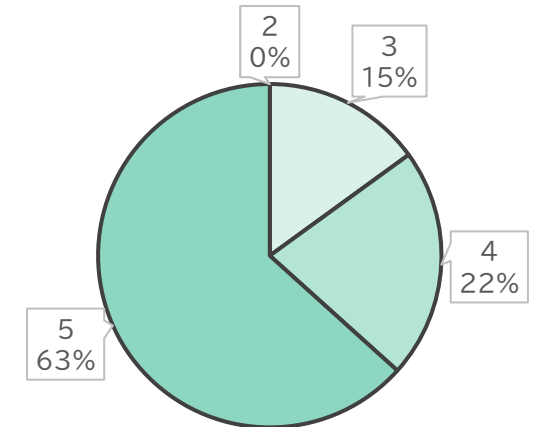
	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	9	13	38	60

「協働することによりよい成果を得られたか」という質問に対しては、9割の事業で高い評価を得られており、協働でやることの意義が再確認できました。

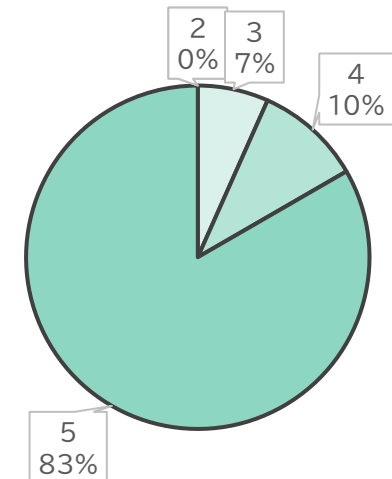
「市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較して、よりよい成果を得られましたか？」

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	4	6	50	60

事業全体の費用対効果



協働による成果



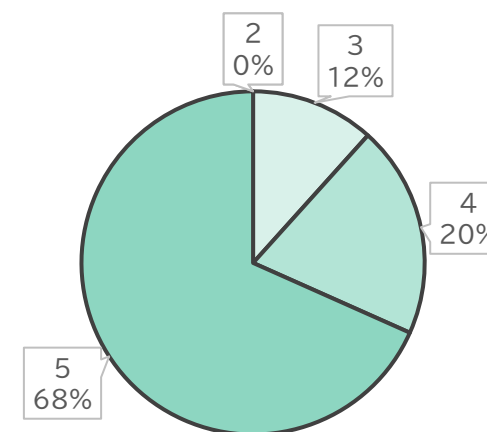
## パートナーからの評価

パートナーからの評価において、事業全体に対する満足度の平均点は4.57点、市の対応に対する満足度の平均点は4.61点でした。いずれも高い満足度を得られています。

「事業全体に対する満足度を教えてください。」(回答者:パートナー)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	7	12	41	60

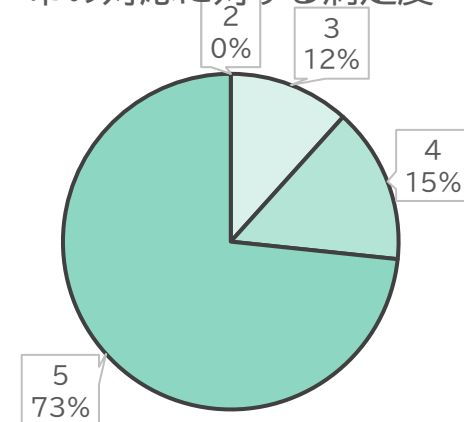
事業全体の満足度



「市の対応に対する満足度を教えてください。」(回答者:パートナー)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	7	9	44	60

市の対応に対する満足度



# パートナーとの関係性に対する評価

パートナーの関係性に対する評価については、ほとんどの事業において高く評価しており、両方で友好的関係を築けている様子がうかがえます。

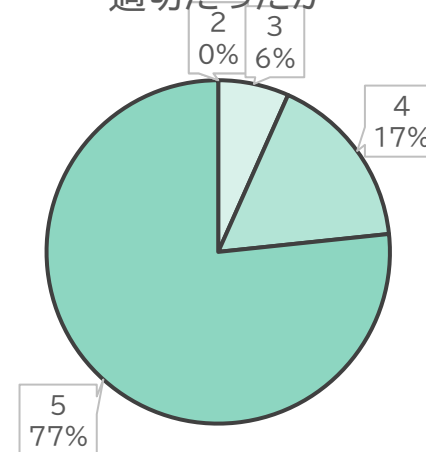
「協働相手(パートナー)の選定は適切でしたか？」(回答者:市)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	4	10	46	60

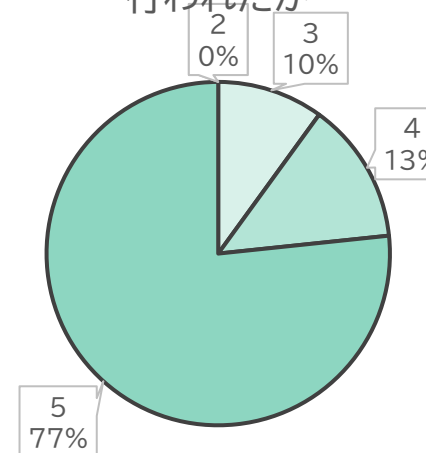
「市とパートナーとの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われましたか？」(回答者:市)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	6	8	46	60

パートナーの選定は適切だったか



意思疎通は円滑に行われたか



## 役割分担と実施状況に関する評価①

役割分担については、適切に行われており、かつパートナーの特性も十分に活かしている事業が多いという結果になりました。

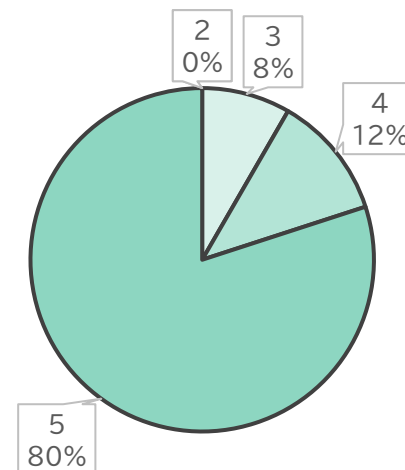
「役割分担は適切でしたか？」(回答者:市)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	5	7	48	60

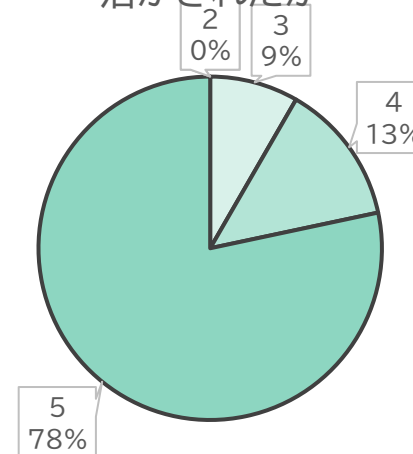
「パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていましたか？」(回答者:市)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	5	8	47	60

役割分担は適切だったか



パートナーの特性は活かされたか



## 役割分担と実施状況に関する評価②

各自の役割については十分に達成できているようです。一方で達成できなかった理由として、「事業途中でパートナーが辞退した」、「パートナーの役割が不十分だった」、「役割分担や業務内容の共有不足があった」、「日程調整が難しかった」、「会議参集者が少なかった」、「周知・PRが不足していた」、「組織の高齢化により、十分な連携と実行体制を構築できなかった」ことなどが挙げられました。

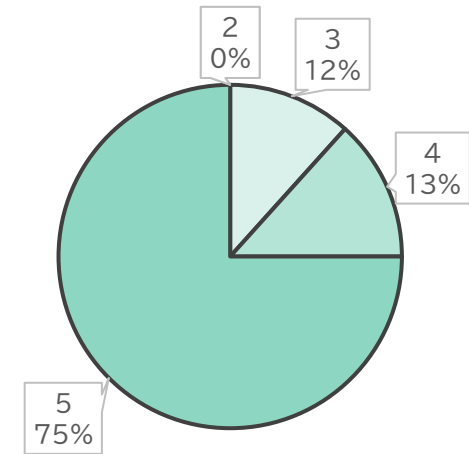
「市の役割の達成度を評価してください。」(回答者:市)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	0	7	8	45	60

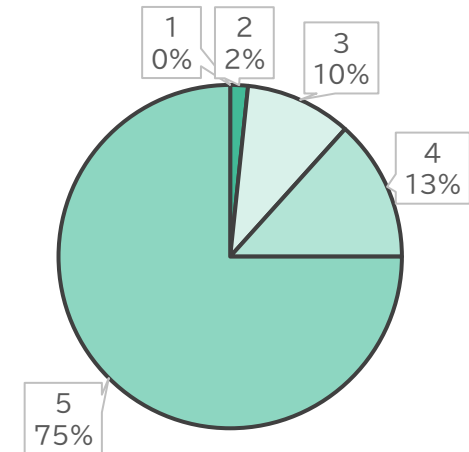
「パートナーの役割の達成度を評価してください。」(回答者:市)

	1	2	3	4	5	計
回答数	0	1	6	8	45	60

市の役割の達成度



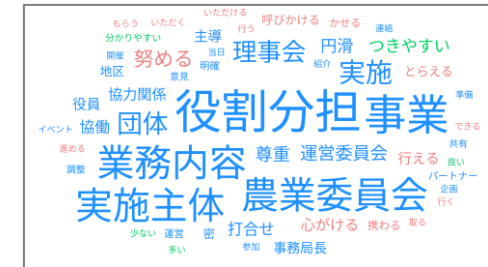
パートナーの役割の達成度



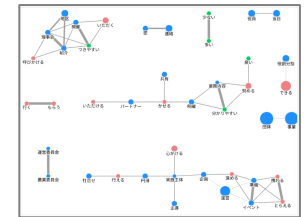
# テキスト分析

市、パートナーそれぞれのコメントをテキストマイニングで分析しました。

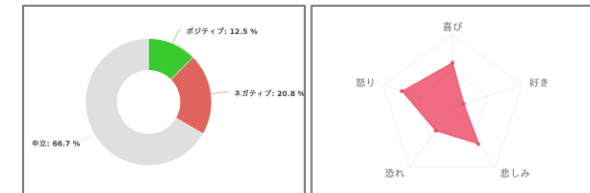
ワードクラウドは、重要度の高い言葉に重みをつけ、スコアが高い順に文字が大きくなっています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞・形容動詞、灰色が感動詞を表しています。



共起キーワードは、文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画されます。



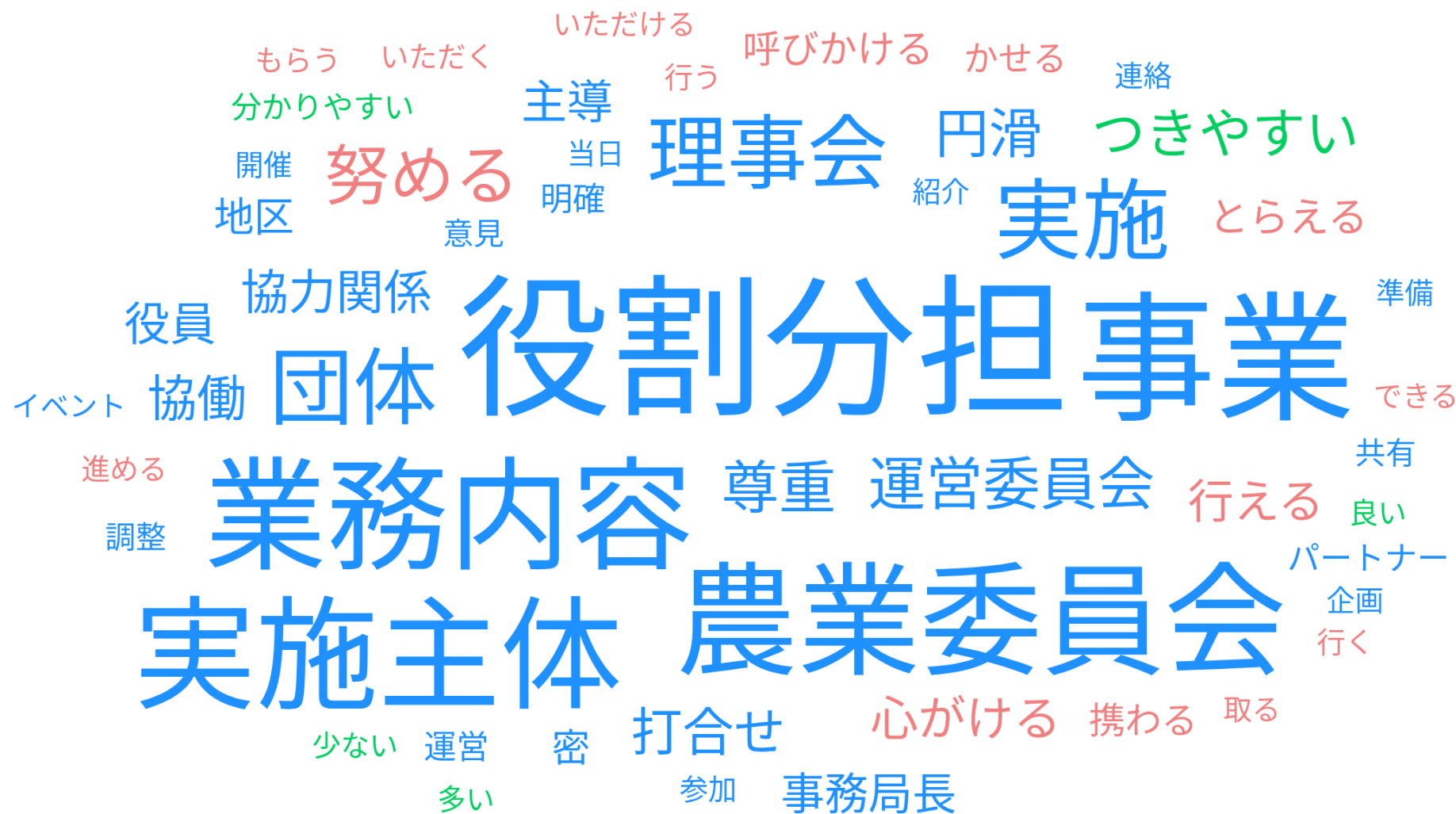
感情分析AIでは、文書全体を分析し、感情の傾向を可視化しています。「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示しています。「感情」は、文章に含まれる各感情の度合いを数値に換算しています。なお、各感情の数値は、全ての感情の平均値を50%とした偏差値です。





「次年度以降の改善点や提案があれば記入してください。」(回答者:市)

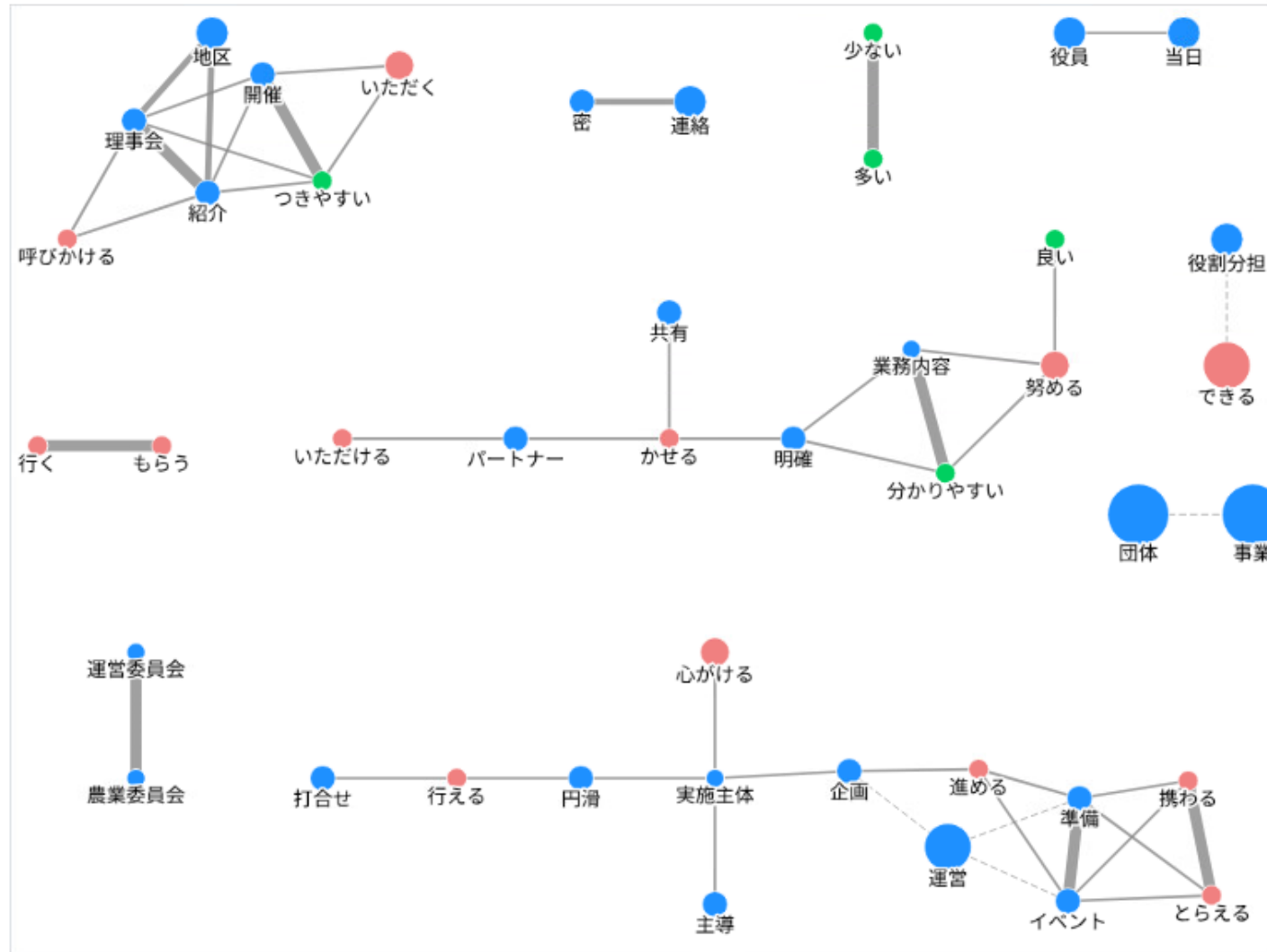
## ワードクラウド



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

「次年度以降の改善点や提案があれば記入してください。」(回答者:市)

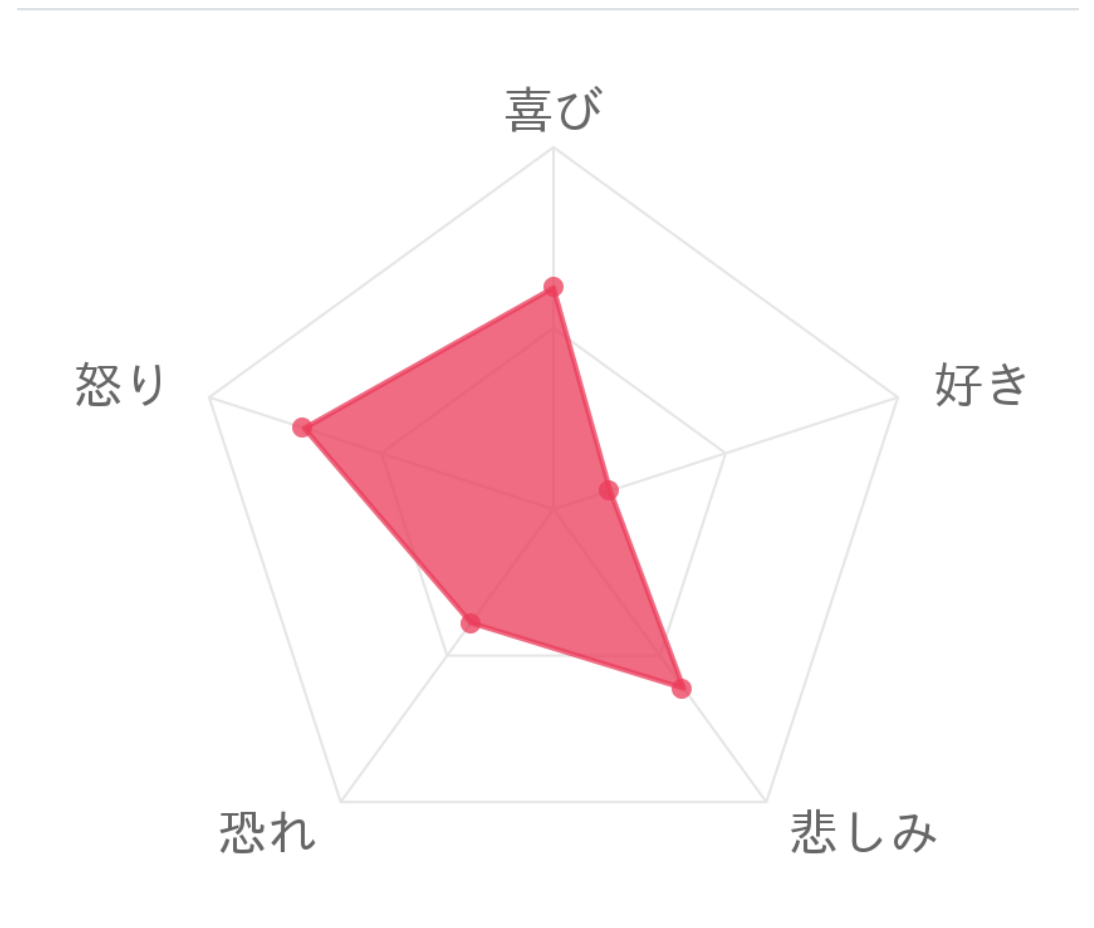
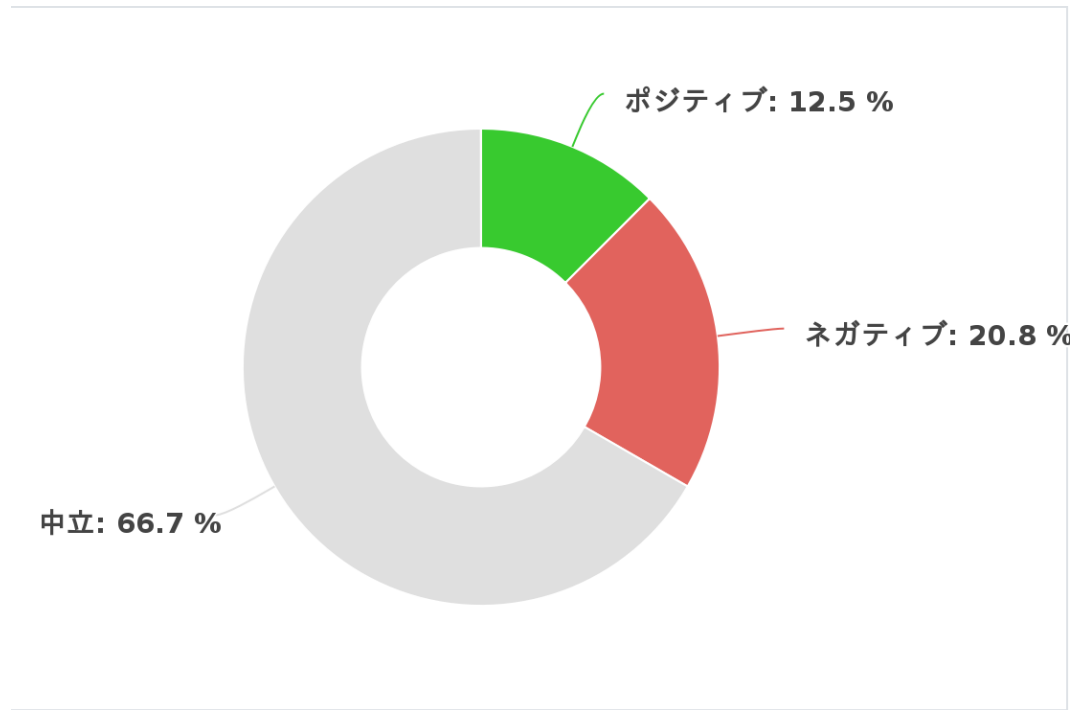
## 共起キーワード



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

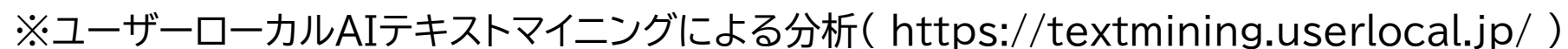
「次年度以降の改善点や提案があれば記入してください。」(回答者:市)

## 感情分析AI ポジネガ/感情



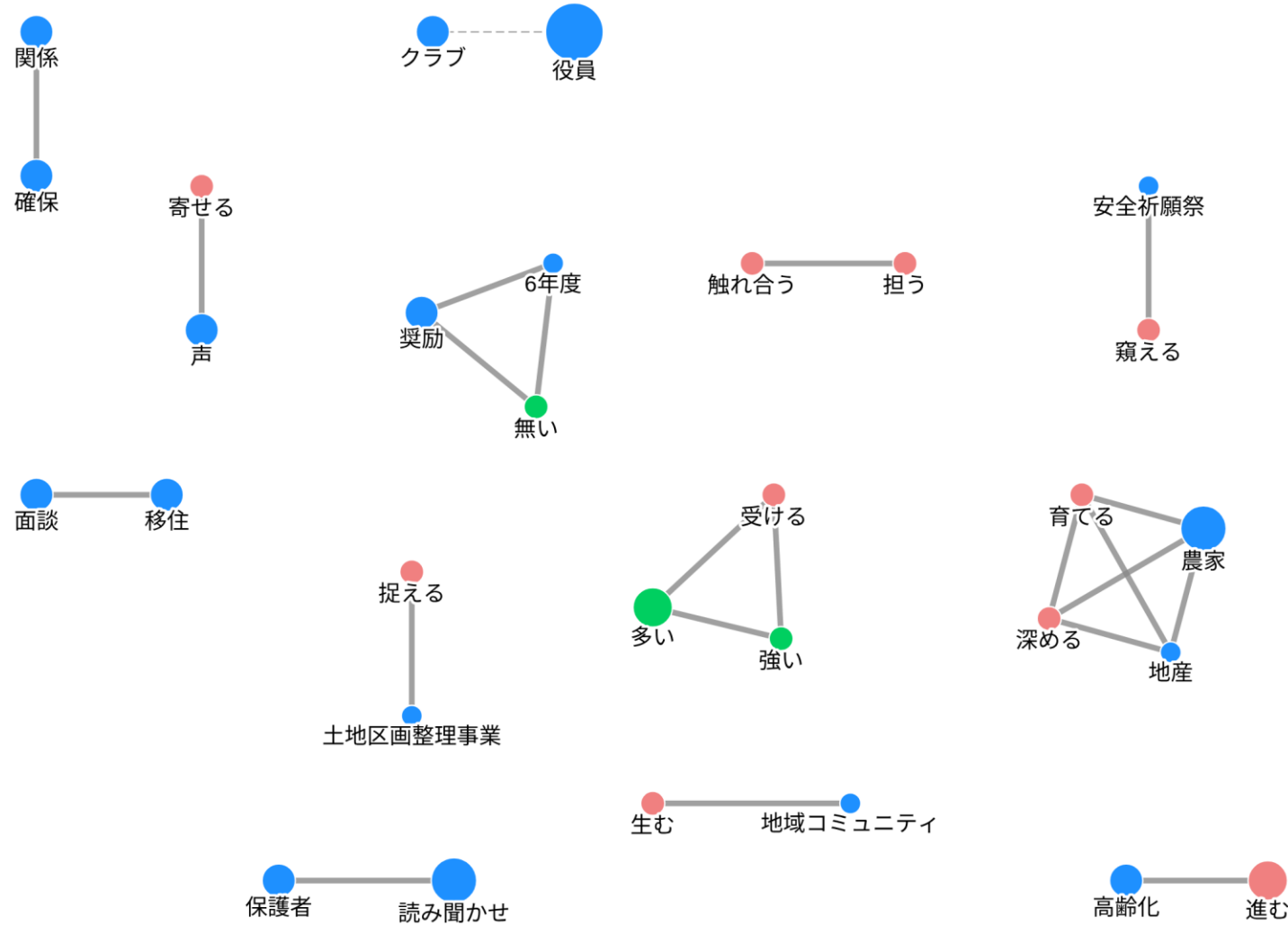
※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

# ワードクラウド



「その他、協働事業に関する気づきや印象的なことがあれば自由に記入してください。」(回答者:市)

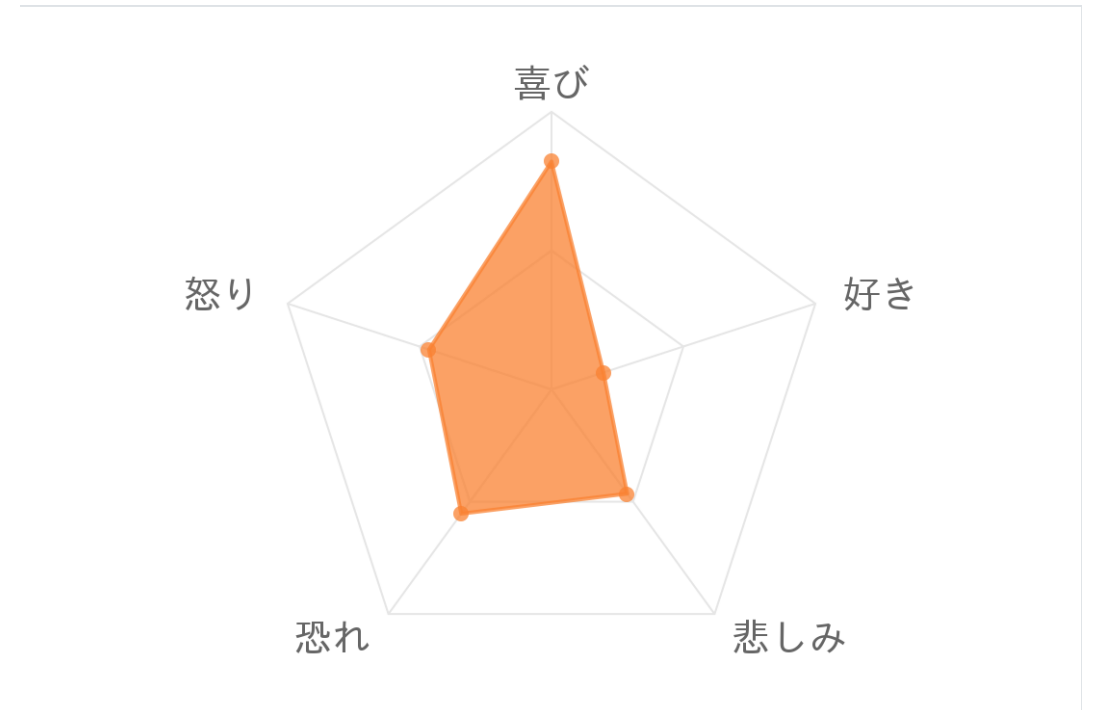
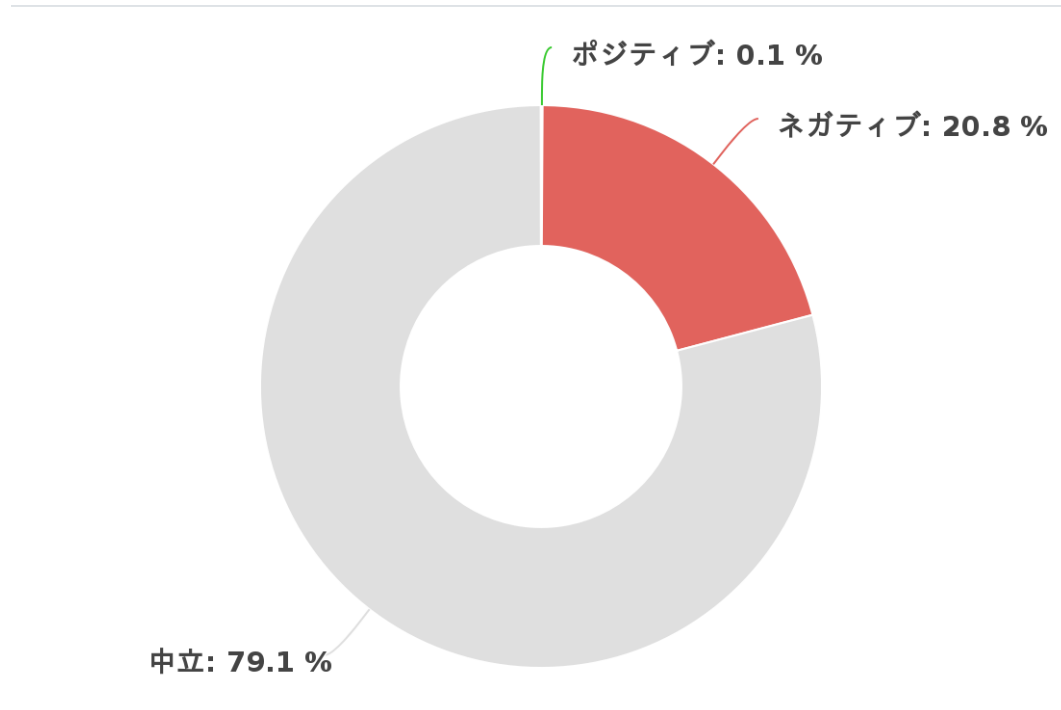
## 共起キーワード



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

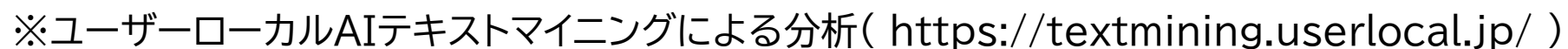
「その他、協働事業に関する気づきや印象的なことがあれば自由に記入してください。」(回答者:市)

## 感情分析AI ポジネガ/感情



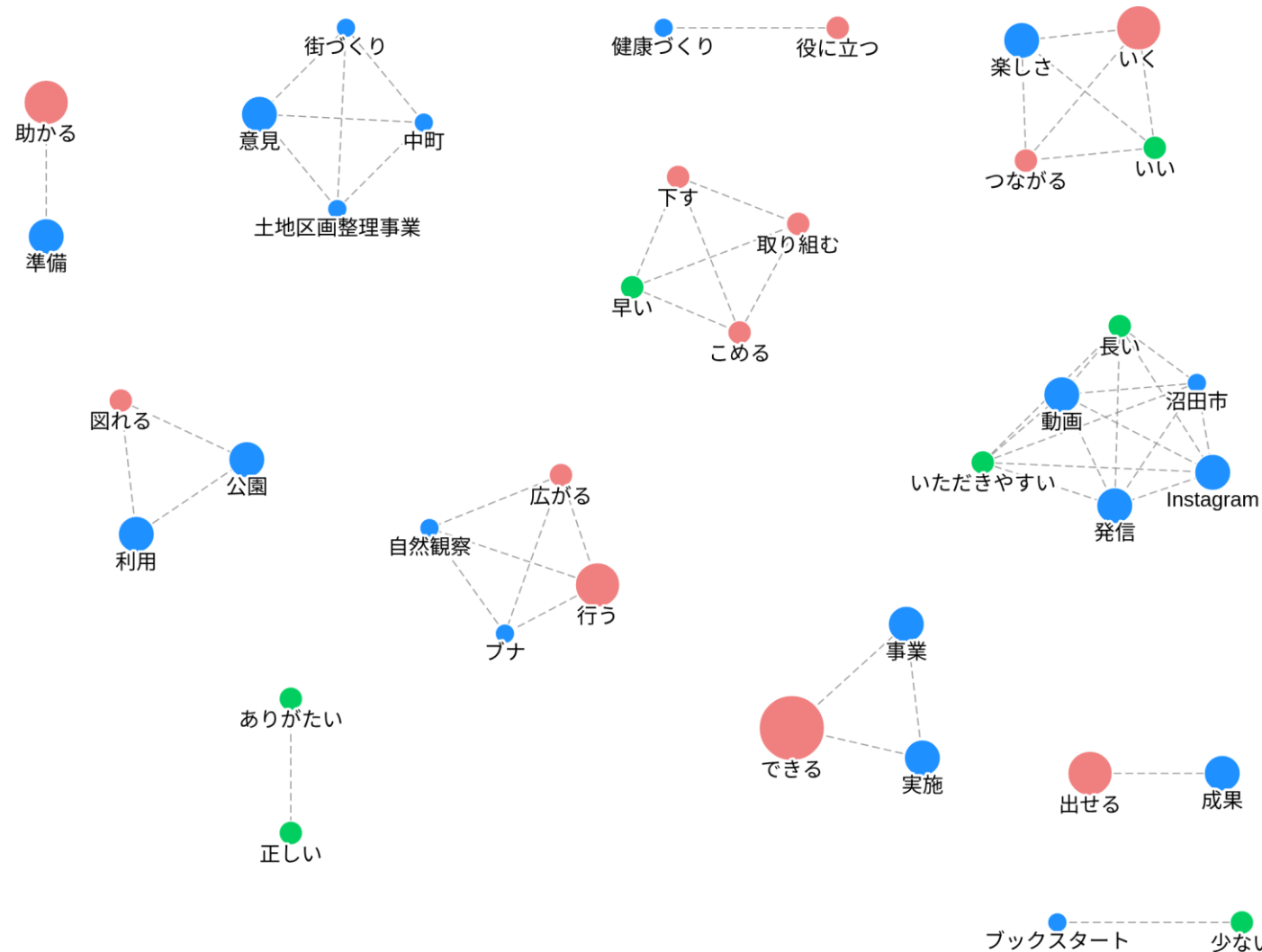
※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

# ワードクラウド



「上記の回答について、理由や感じたことがあれば自由にご記入ください。」(回答者:パートナー)

## 共起キーワード

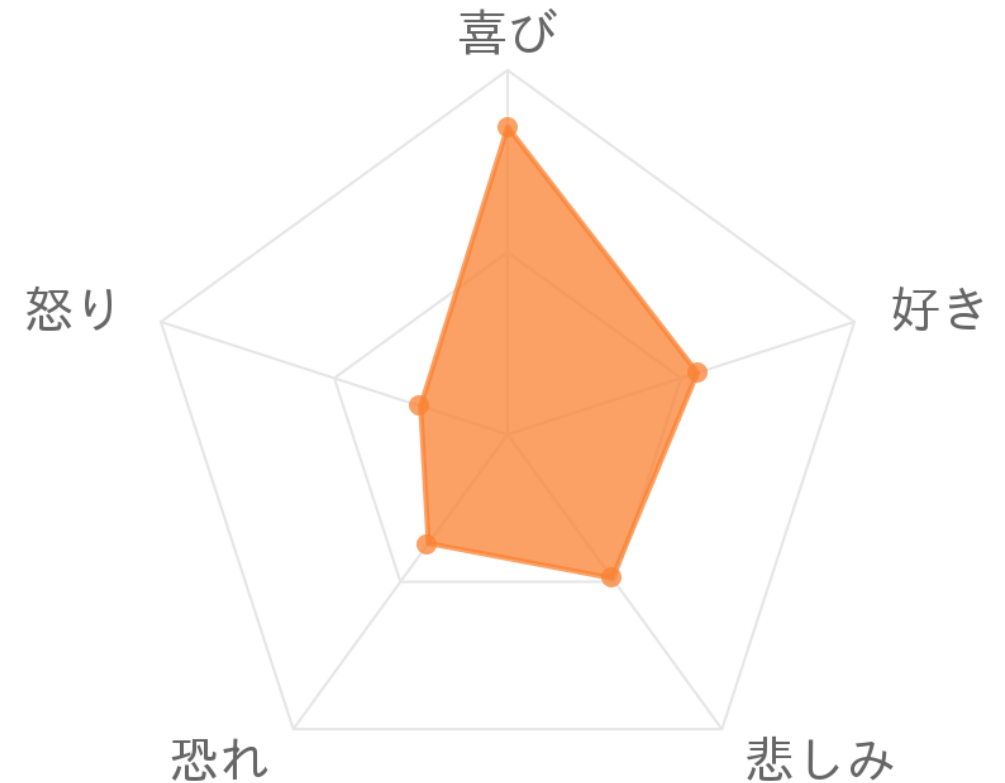
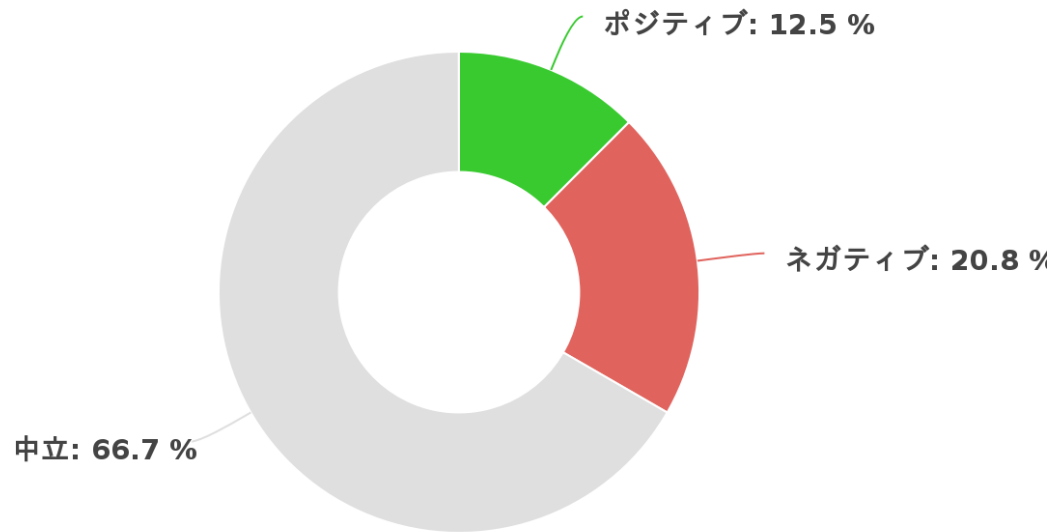


※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )



「上記の回答について、理由や感じたことがあれば自由にご記入ください。」(回答者:パートナー)

## 感情分析AI ポジネガ/感情



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

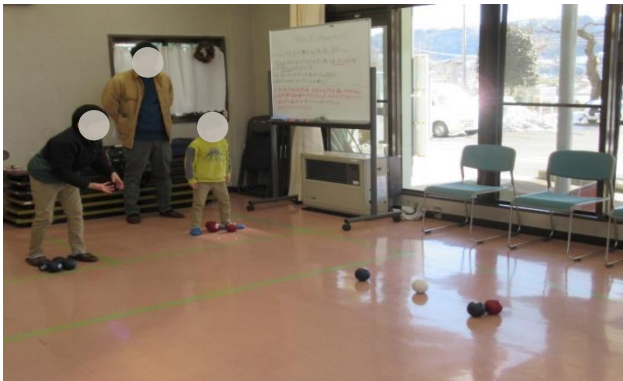
2 令和6年度の事業より紹介

令和6年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業目的
8	市民協働課利南地区コミュニティセンター	利南地区コミュニティセンターまつり	後援	利南地区振興協議会	住民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与することを目的とする。
60	文化財保護課	茶会開催業務	委託	沼田茶道会	国指定重要文化財である旧生方家住宅の保存と活用の推進

No. 8 利南地区コミュニティセンターまつり

No.60 茶会開催業務



ボッチャ



お花見添釜会場の旧生方家住宅



お譲り会



和の建物に鮮やかな着物が映えます



講演会



温かいおもてなしで子どもから大人までお茶と和菓子を楽しみました